

平成 30 年 2 月 28 日（水）13:30 から宮崎大宮高校体育館にて、平成 29 年度弦月同窓会入会式が行われました。

今年度は普通科と文科情報科の生徒あわせて 391 名が新たに弦月同窓会の仲間になりました。

式では弦月同窓会の内藤会長から挨拶があった後、生徒代表の岩崎綾香さんに卒業記念品が授与されました。

続いて、入会者を代表して伊藤風太さんが挨拶を行いました。

内藤会長からの挨拶と、入会者代表挨拶をご紹介します。

## ■会長挨拶

伝統ある宮崎大宮高校弦月同窓会への入会を、心から歓迎いたします。皆様の若さあふれる、輝く瞳を見て、とても心強く思います。

皆様の頭一つ動かさない、立派な姿勢を、壇上から見て感動を覚えます。

私にも 18 歳の頃がありました。どのような進路に進むべきか、どの道が適しているのか、不安な毎日でした。しかし、決めなくてはなりませんでした。

その時に頼りにしたのは、もちろん先生であり、友人でした。

不安な中に大学へ進み、不安な中に、よし、これだと決めたのは、自分が教育実習に行った時でした。

最近の高校では、在学中に色々な先輩の声が聞ける「キャリア学習」があり、皆様にとっては有効に働いたのではないのでしょうか。

ここに、同窓会の存在価値が出てくるのです。同窓会に入会すれば、多方面に活躍している先輩から、遠慮なく経験談も聞けるでしょう。同窓会は、卒業後のあなたたちにとって、生きた進路学習の場となります。

これから進むであろう大学、社会にあたって、宮崎大宮高校出身と聞けば、多くの方がおり、不思議にも心の糸が即座につながります。

とはいうものの、あなた方自身の生き方が決め手になります。積極的に学び取ろうという前向きの姿勢です。若さあふれる、失敗も恐れぬ、チャレンジ精神です。時の流れるままの、人まかせの姿勢では、先輩も同僚も声をかけてくれません。

大宮高校で学んだ「自主自律」の精神を今こそ具体的に、自分なりに創造して行くことが大切です。

友を大切に、先輩を大切に、そして母校の先生方、そして育ててくれた親への感謝を忘れずにたくましく生き抜いていってください。

人生 80 年！ 長い人生に立ち向かえる「若さ」という武器を大切にして、楽しい、充実した人生をお送りください。とはいえ、「時は人を待たず」といいます。1 分が大切です。時間を聞かれて 8 時 3 分であった時、「8 時」と答えてはいけません。それでは「3 分」を

無視しています。

大宮高校の校歌は、「真理を探り」「美にあこがれ」「善を行う」と歌っています。今から進む社会において、心の規範として、生かして行ってください。

来年度130周年を迎える宮崎大宮高校弦月同窓会へ、皆様方を心から歓迎いたします。

平成30年2月28日

宮崎大宮高等学校弦月同窓会

会長 内藤 泰夫

### ■入会者代表挨拶

私たち第70回卒業生の同窓会入会に際しまして、心強いお言葉をいただき、ありがとうございました。明日で私たちは、この宮崎大宮高等学校を卒業し、弦月同窓会の仲間入りをさせていただきます。長い伝統を持つ弦月同窓会の一員になれることを、心より嬉しく思います。

夢と希望を胸に臨んだ入学式から、早くも3年の月日が経ちました。新しい環境に心躍りながらも、右も左も分からず不安に押しつぶされそうになっていたことを昨日のこのように思い出します。

生徒一人ひとりに真剣に向き合い、厳しくも温かい指導をしてくださった先生方。私を理解して、サポートしてくれた家族。そして、ともに励まし合い、笑いあい、切磋琢磨した3年生の仲間たち。本当に多くの方々に支えられてきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、同窓会入会にあたり、今、私は本校の校歌に込められたメッセージに思いを寄せています。3年前、この体育館で行われた応援団による歌唱指導からこの日まで歌い続けた校歌。この校歌は終戦の5年後に制定されたとのこと。

作詞者の長嶺宏氏は、「我々は戦争によって多くのものを失った。しかし、どんなことがあっても決して失ってはいけないもの、どんな強大な力でも壊されないもの、永遠に変わらないものがあり、それら大切なものを求めるのが学校である。」と言及しています。私たちを取り巻く社会は急速に情報化、国際化しています。変わりゆく社会の中で、それら大切なものを見失わず、より良く対応していく将来を築いていきます。

この歴史ある宮崎大宮高等学校で学んだこと、そして弦月同窓会の先輩方が受け継いでこられた伝統を道標に、強い志を立てて努力することをお誓いして、同窓会入会式のあいさついたします。

平成30年2月28日

第70回卒業生代表

伊藤風太

※ご挨拶をされる内藤会長



※記念品授与：受領者代表の岩崎綾香さん



※入会者代表挨拶をされる伊藤風太さん

以上